



取扱説明書(トヨタ編)

ご使用になる前に	1
はじめに.....	2
安全にご利用になるために	3
診断機能	5
自己診断機能	6
作業サポート機能.....	16
カスタマイズ機能.....	30

ご使用になる前に

はじめに.....	2
安全にご利用になるために.....	3

本取扱説明書では、トヨタ車の診断機能に関してご説明させていただきます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

- 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテスト、作業サポートはトヨタのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテスト、作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。



注意

- トヨタ車または、トヨタ製造のOEM車以外に使用しないでください。

診断機能

自己診断機能	6
作業サポート機能.....	16
カスタマイズ機能.....	30

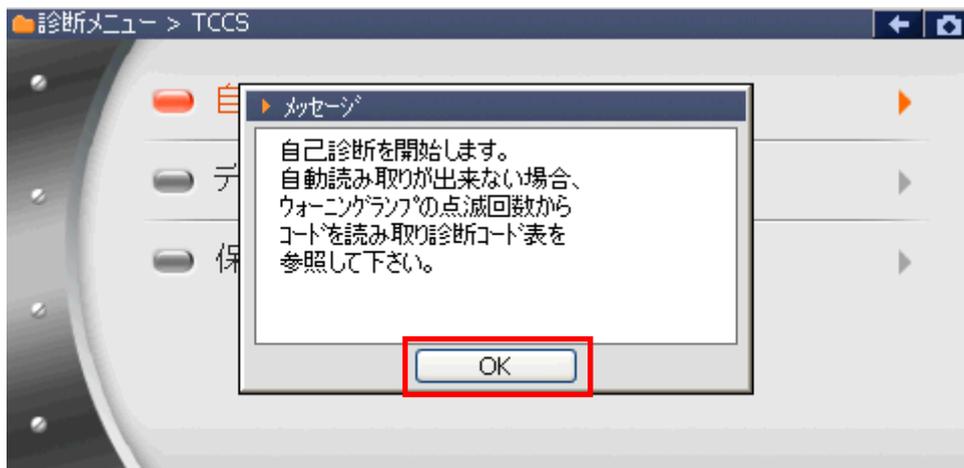
トヨタ カプラ（角型）・（丸型） 装備車の場合

1) 診断メニューにおいて『自己診断』選択して、 ボタンを押してください。



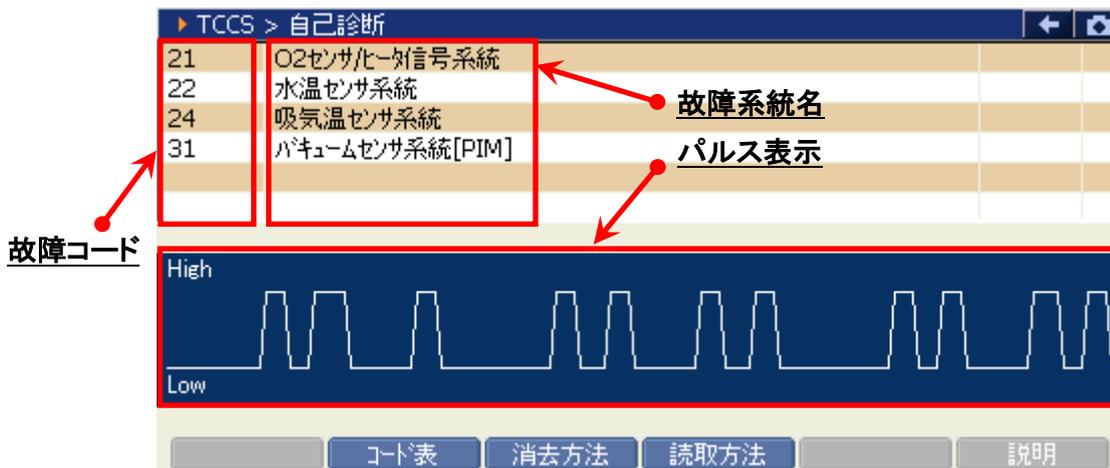
〈図：診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 確認メッセージが表示されますので を押して進んでください。



〈図：自己診断確認メッセージ〉

3) 自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



〈図：自己診断画面〉

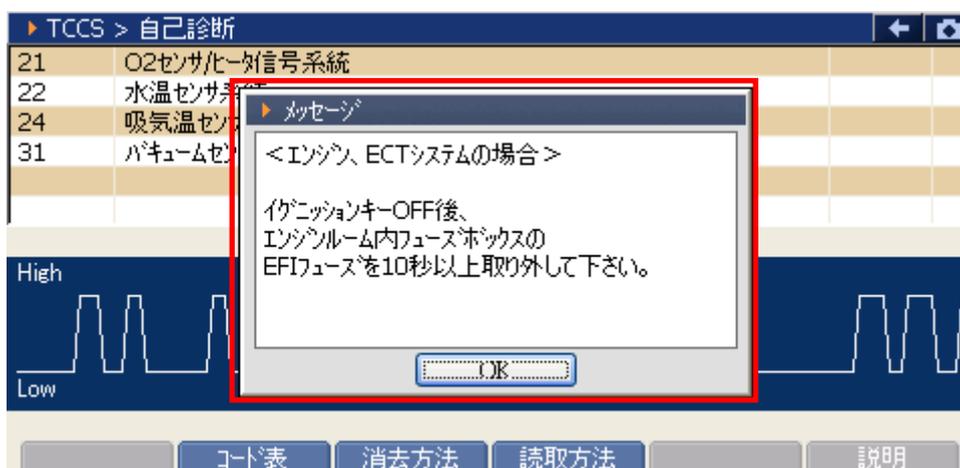
故障コード : トヨタ独自の故障コードが表示されます。

故障系統名 : 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、トヨタのサービスマニュアルをご参照ください。

パルス表示部 : ウォーニングランプの点滅状態がパルスで表示されます。

- コード表** : コード表を表示します。
- 消去方法** : 自己診断記憶を消去します。
- 読取方法** : 故障コードの読取方法を表示します。

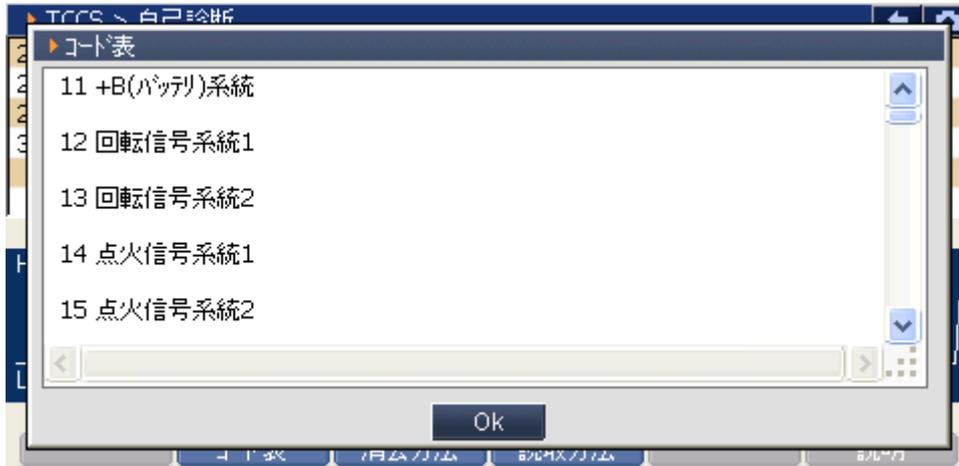
4) **消去方法** ボタンをタッチ、又は **F3** ボタンを押すと故障コードの消去方法が表示されます。表示された消去方法に従って、故障コードを消去してください。



〈図：消去方法の表示〉

コード表 ボタンの詳細

- ① **コード表** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すと、現在選択しているシステムの故障コード表が表示されます。



〈図:コード表の表示〉

読取方法 ボタンの詳細

- ① **読取方法** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと、ウォーニングランプによる故障コードの読み取り方法が表示されます。



〈図:読取方法の説明〉

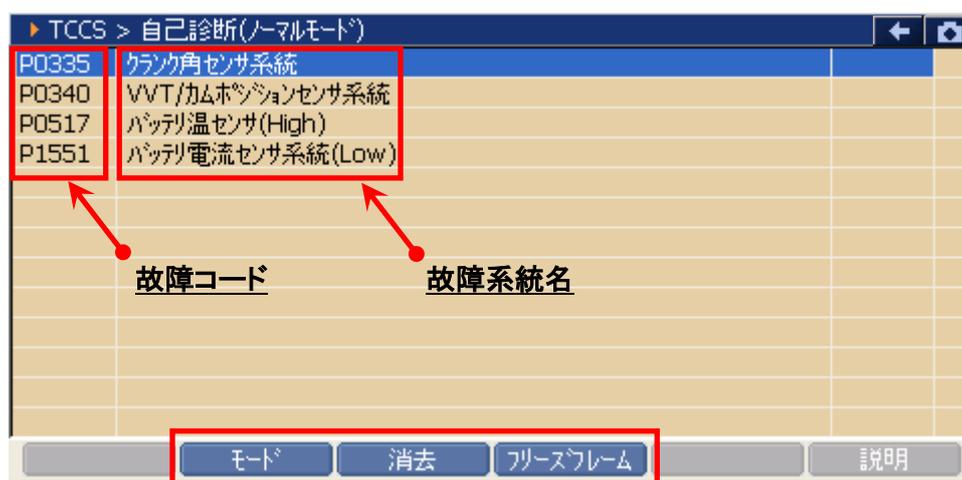
OBD-II コネクタ(DLC3) 装備車の場合

1) 診断メニューにおいて『自己診断』を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



〈図: 自己診断画面〉

故障コード : SAEコード(例:P0135)が表示されます。

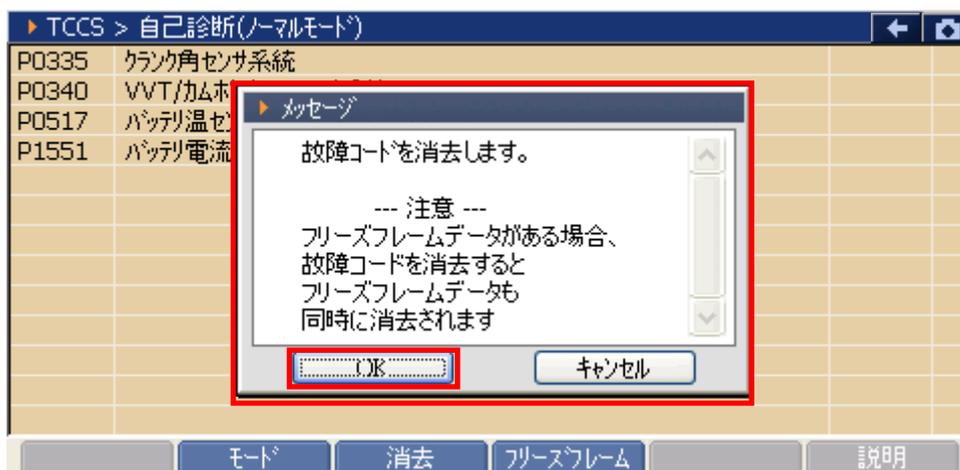
故障系統名 : 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、トヨタのサービスマニュアルをご参照ください。

モード ノーマルモードとチェックモード(テストモード)の切替をします。

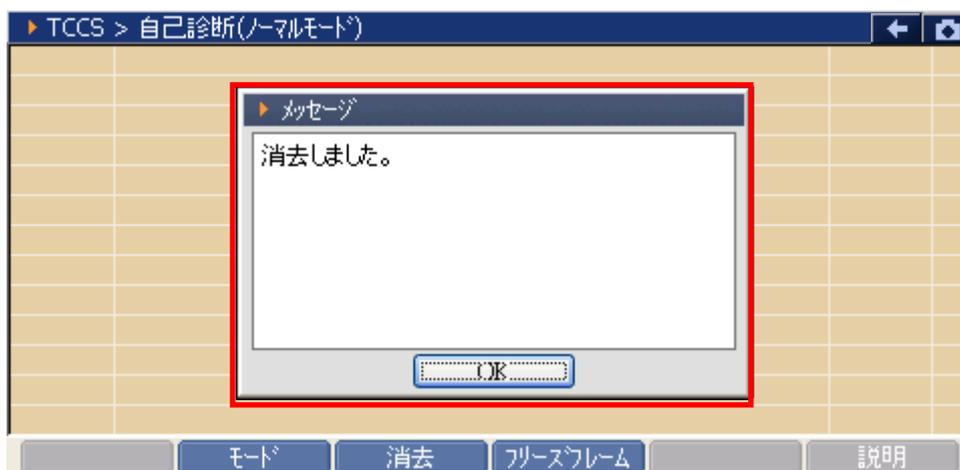
消去 自己診断記憶を消去します。

フリーズフレーム フリーズフレームデータを表示します。

- 3) **消去** ボタンをタッチ、又は **F3** ボタンを押すと故障コードを消去します。
以下の画面が表示されますので、**OK** ボタンをタッチして故障コードを消去してください。



〈図: 故障コードの消去〉

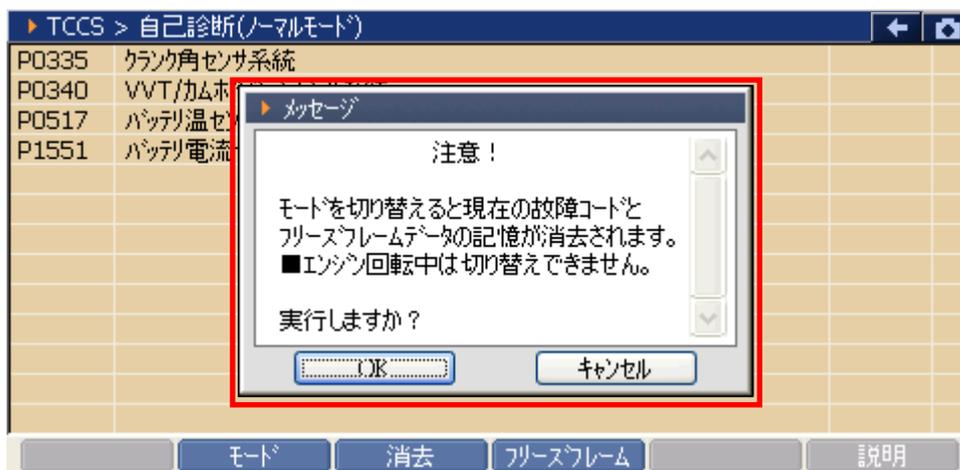


〈図: 故障コードの消去完了〉

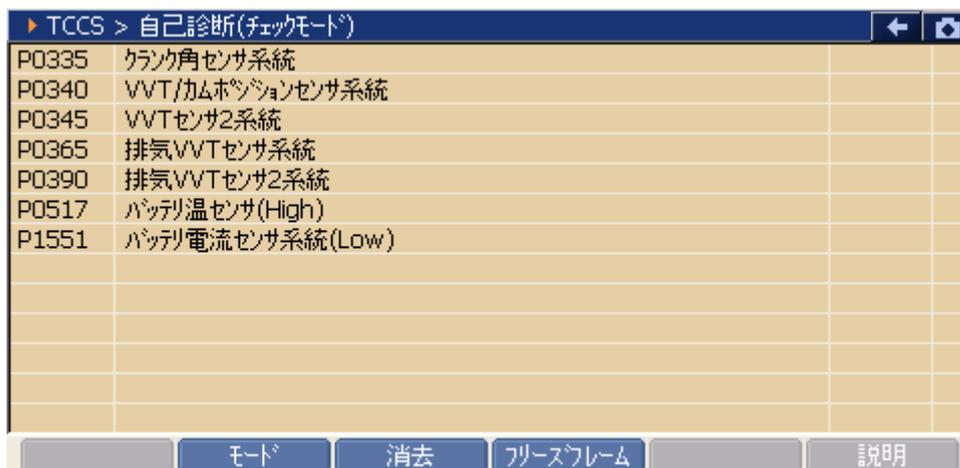
モード ボタンの詳細

- ① **モード** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すとノーマルモードとチェックモード(テストモード)の切替えが行えます。

以下の画面が表示されますので、よろしければ **OK** ボタンをタッチしてください。モードが切替わります。



〈図:モード切替〉



〈図:チェックモード(テストモード)での表示〉

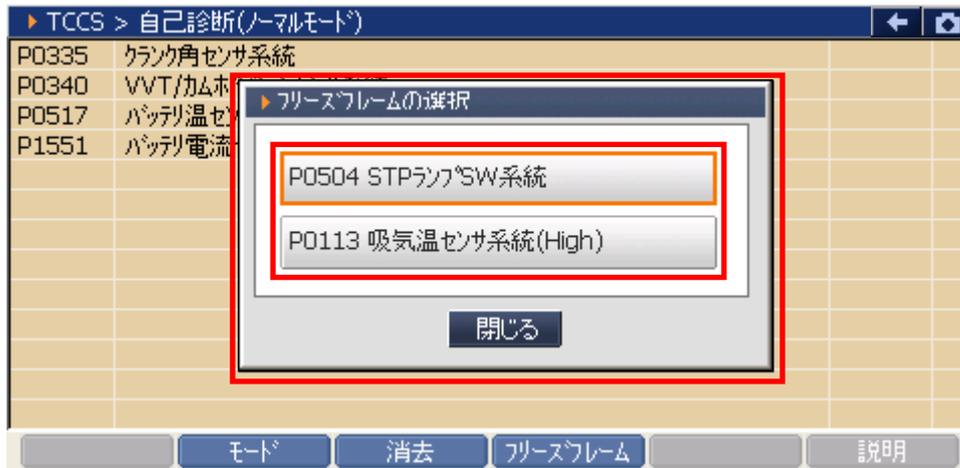
※注意と補足※

- ・ チェックモードとは、通常のノーマルモードに比べて異常検出感度を向上させた機能です。各センサの異常が考えられるにも関わらず、ノーマルモードで検出できない場合に使用します。
- ・ テストモードとは定められた手順に従って車両を操作し、各センサのチェックを行う機能です。テストモードを実行すると、異常ではなくてもテストモードコードを出力することがあります。詳細に関してはトヨタのサービスマニュアルをご参照ください。

■ フリーズフレーム ボタンの詳細

1)HV(ハイブリッド)システム以外の場合

- ① **フリーズフレーム** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。



〈図:表示するフリーズフレームデータの選択〉

- ② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

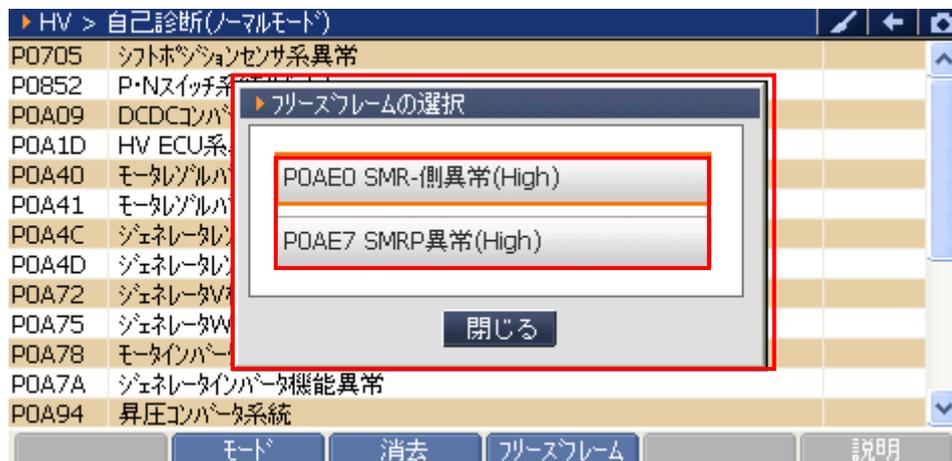
戻る ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押すと自己診断画面に戻ります。

フリーズコード(DTC)	P0335	
F/B実施状態 B1	未実施1	-
F/B実施状態 B2	未実施1	-
エンジン負荷値	0.0	%
エンジン冷却水温	-5	℃
空燃比F/B値 B1	0.0	%
空燃比F/B学習 B1	0.0	%
空燃比F/B値 B2	0.0	%
空燃比F/B学習 B2	0.0	%
エンジン回転数	0	rpm
車速	0	Km/h
点火時期(#1)	5.0	°

〈図:フリーズフレームデータの表示〉

2)HV(ハイブリッド)システムの場合

- ① **フリーズフレーム** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。



〈図:表示するフリーズフレームデータの選択〉

- ② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

戻る ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押すと自己診断画面に戻ります。

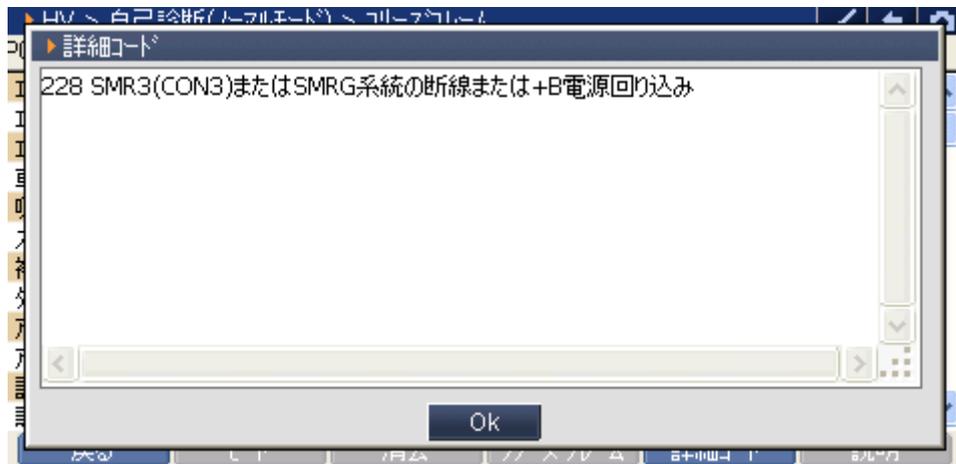
The screenshot shows the 'HV > 自己診断(ノーマルモード) > フリーズフレーム' screen. The title bar indicates the selected fault code 'POAEO SMR-側異常(High)'. The main area displays a table of freeze frame data with the following values:

エンジン負荷値	0.0	%
エンジン冷却水温	0	°C
エンジン回転数	0	r/min
車速	196	Km/h
吸入空気温度	0	°C
スロットルセンサNo.1開度	0.0	%
補機バッテリー電圧	11.4	V
外気温度	0	°C
アクセルセンサNo.1開度	0.0	%
アクセルセンサNo.2開度	0.0	%
詳細情報1有無	あり	-
詳細情報1	228	-

At the bottom of the screen, there are buttons for '戻る', 'モード', '消去', 'フリーズフレーム', '詳細コード', and '説明'.

〈図:フリーズフレームデータの表示〉

- ③ **詳細コード** ボタンをタッチ、又は  ボタンを押すと詳細コードが表示されます。



〈図: 詳細コードの表示〉

※注意と補足※

- ・ フリーズフレームデータとは故障コード発生・検出時のデータがECU(コンピュータ)によって記録されたものです。記憶されるデータの種類は車載ECUによって決められていて、故障コードに関連したデータ(エンジン回転数、車速、燃料補正值、冷却水温等)が記憶されます。
- ・ フリーズフレームデータは故障コード消去後、最初の故障コード発生と同時に1回だけ記憶されます。
- ・ 詳細コードとは故障コードを細分化したコードを示します。
- ・ 詳細コードはフリーズフレームデータがなければ詳細コードは確認できません。
- ・ フリーズフレームデータ、詳細コードは故障コードを消去する時に同時に消去されます。

**警告**

- 作業サポートはトヨタのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

作業サポートの対応状況については、製品サイト:G-scan.jpを参照してください。

<https://g-scan.jp/g-scan/system-toyota-lexus.html>

ABS/VSC エア抜きを実行した場合

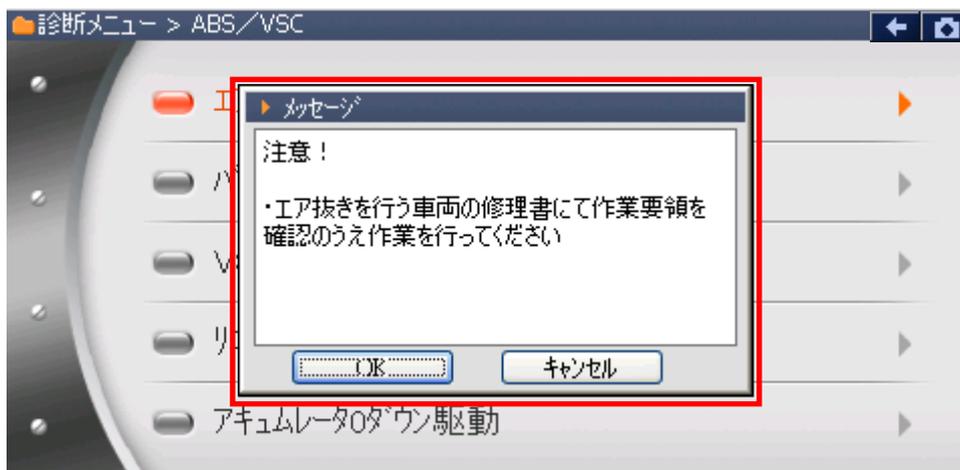


警告

- エア抜きを行う場合は、トヨタのサービスマニュアルにて作業要領を確認の上作業を行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。

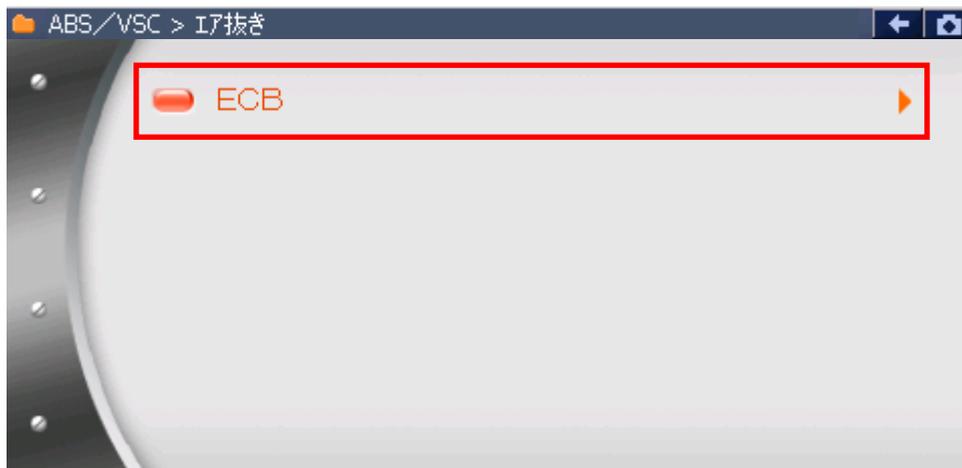
■エア抜き<例1>

- 1) 作業サポート項目選択画面で、『エア抜き』を選択した場合、以下の注意画面が表示されます。注意事項を確認して、よろしければ ボタンをタッチしてください。



〈図:エア抜きの注意画面〉

2) 実行するブレーキの種類を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



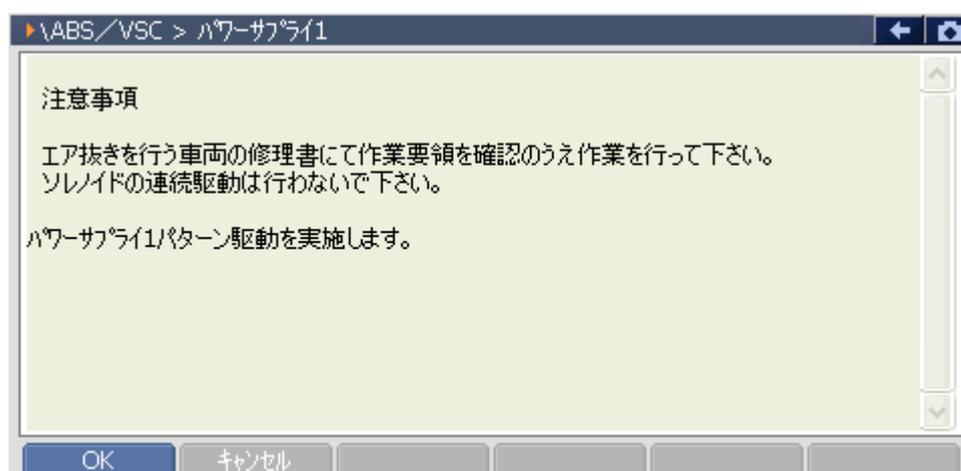
〈図:ブレーキの種類を選択〉

3) エア抜きの作業項目一覧が表示されます。作業項目を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



〈図:作業項目の選択〉

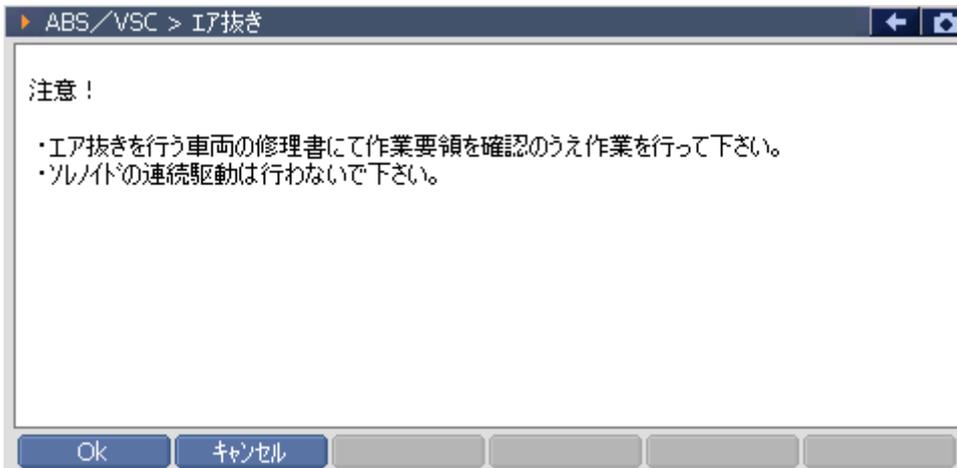
4) 画面の指示に従い、エア抜きを実行してください。



〈図: 作業項目の実行〉

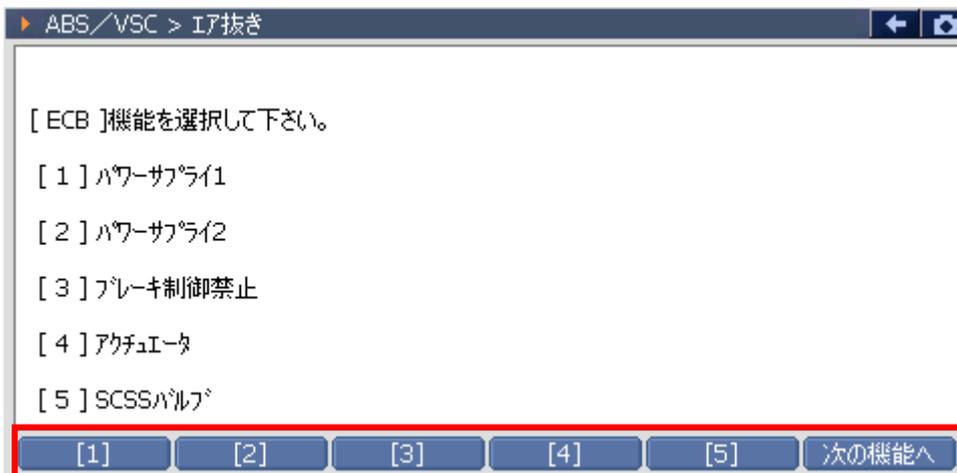
■エア抜き<例2>

- 1) 作業サポート項目選択画面で、『エア抜き』を選択した場合、以下の注意画面が表示されます。注意事項を確認して、よろしければ **Ok** ボタンをタッチしてください。



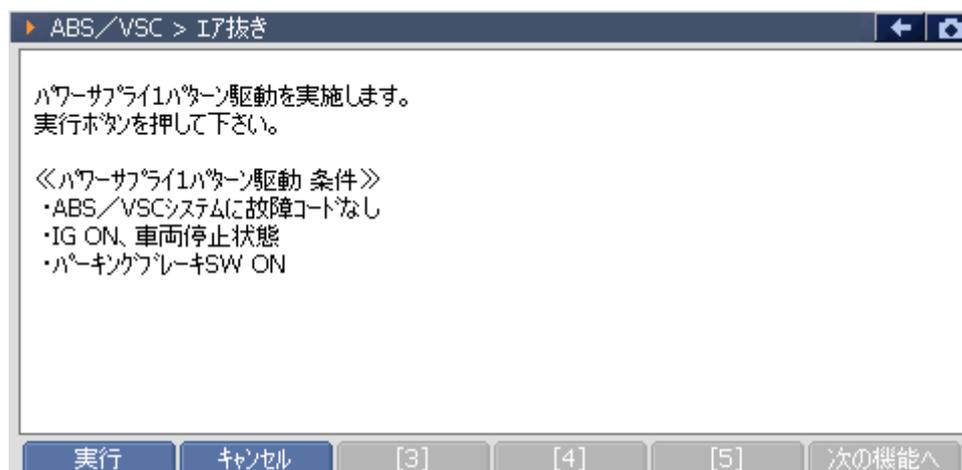
<図:エア抜きの注意画面>

- 2) 診断車両によりECBまたはVSCの作業項目一覧が表示されます。作業項目の番号ボタンをタッチしてください。



<図:作業項目の選択>

3) 画面の指示に従い、エア抜きを実行してください。



〈図: 作業項目の実行〉

※注意と補足※

- ・ ソレノイドを駆動した場合、駆動停止後ソレノイド保護のため約20秒間はソレノイド駆動できません。また、この間は操作もできません。
- ・ 診断車両によっては、エア抜きの一連の作業中にABS/VSCシステムに故障コードが記憶される場合があります。エア抜きの各作業を行う際には故障コードが記憶されていないことを確認してください。
- ・ エア抜きの作業項目は車種、システムによって異なります。
詳細に関してはトヨタのサービスマニュアルをご参照ください。

《 TCCS 作業サポート「インジェクタ補正(手動ID登録)」 》



警告

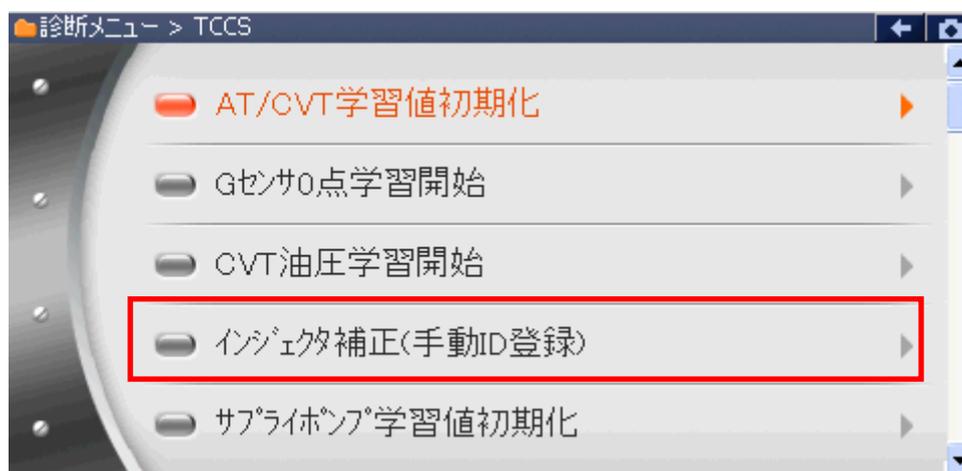
- インジェクタ補正を行う場合は、トヨタのサービスマニュアルにて作業要領を確認の上作業を行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



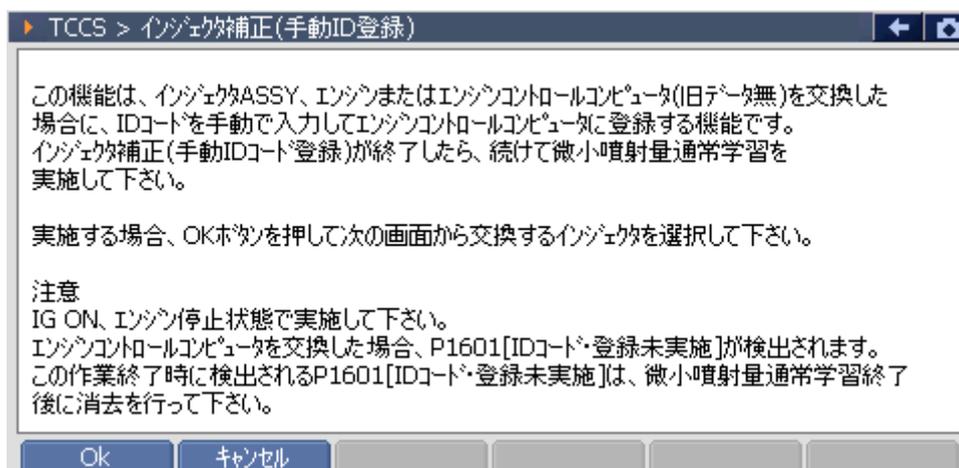
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。インジェクタ補正(手動ID登録)を選択して  ボタンを押してください。



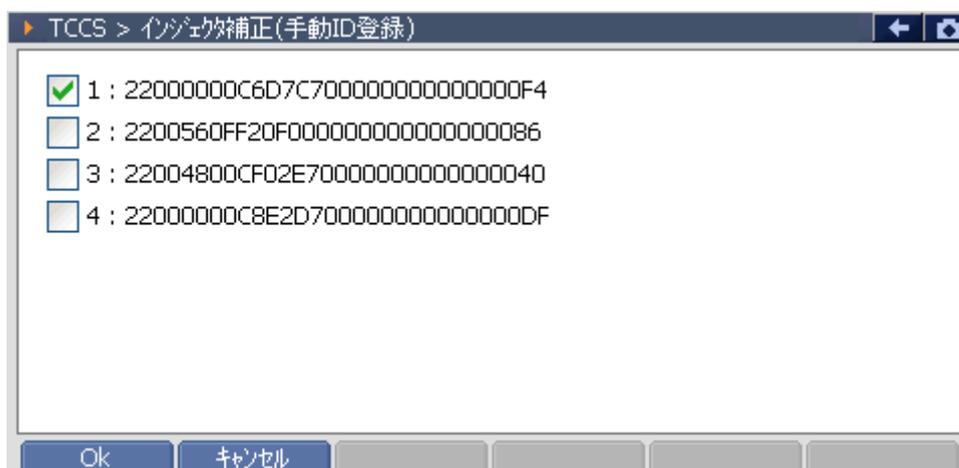
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 3) インジェクタ補正(手動ID登録)実行画面が表示されます。画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



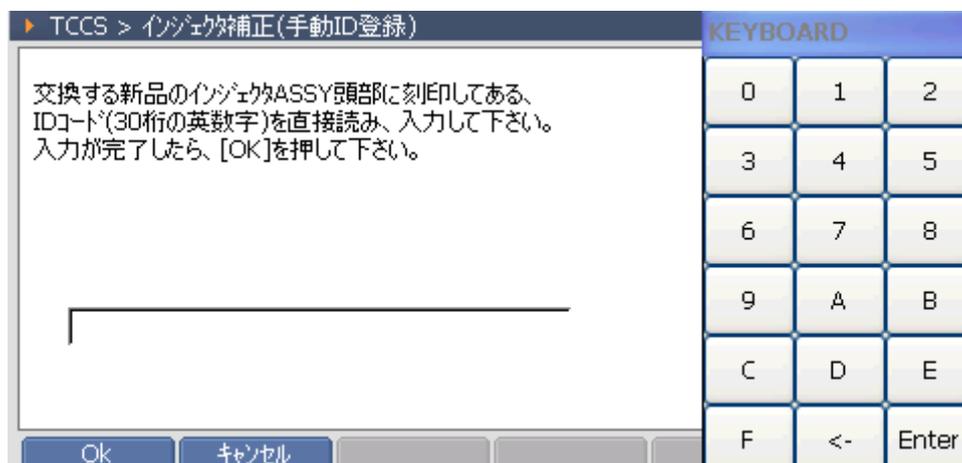
〈図: インジェクタ補正(手動ID登録)実行画面〉

- 4) IDを書き換える気筒を選択します。先頭にチェックマークが付いているものが書き換え対象の気筒になります。:の前に記載されている数字が気筒を表します。書き換える気筒を選択して「OK」を選択してください。



〈図: インジェクタ補正(手動ID登録) 気筒選択画面〉

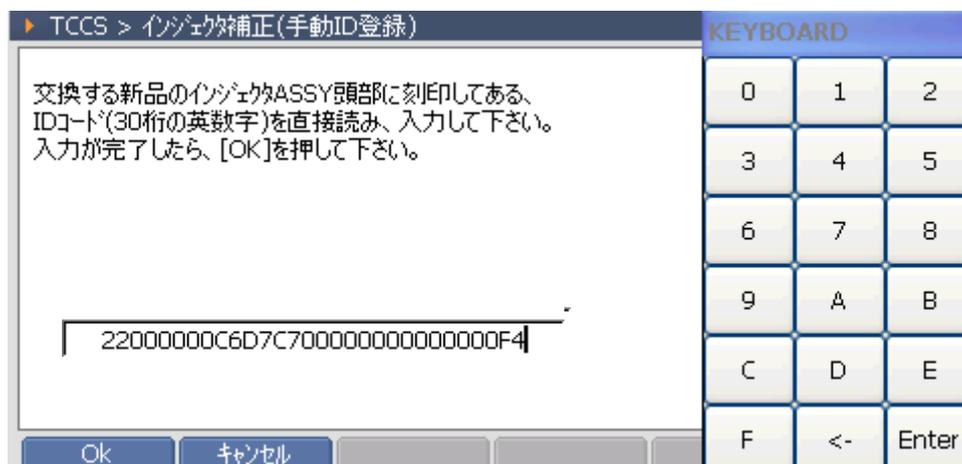
- 5) ID入力画面に移ります。 IDコードは、30桁の英数字で記載されています。
記載されている30桁の英数字を入力してください。
- ※ 30桁入力されていないと次の画面に進めません。
 - ※ 「<-」は入力した英数字を消去するボタンを意味します。



〈図: インジェクタ補正(手動ID登録) 入力画面〉

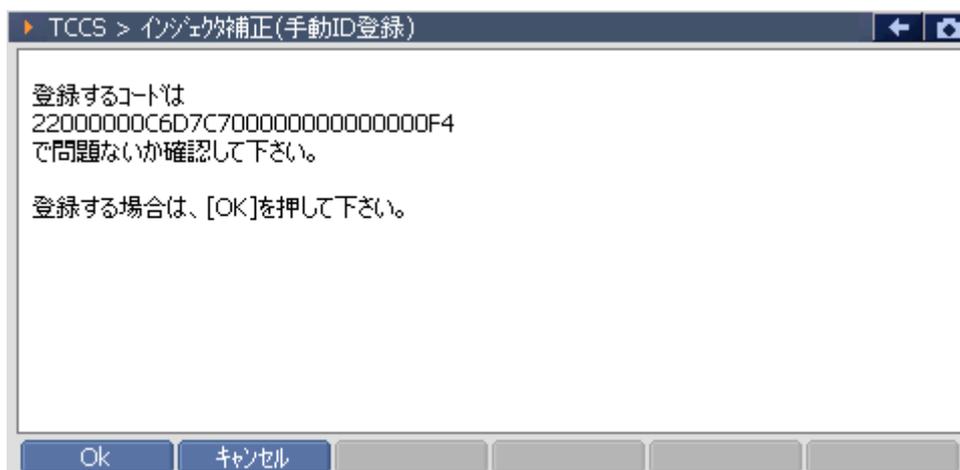
実際に入力した場合、以下のように表示されます。

入力が完了しましたら「Enter」または「OK」を押してください。



〈図: インジェクタ補正(手動ID登録) 入力画面〉

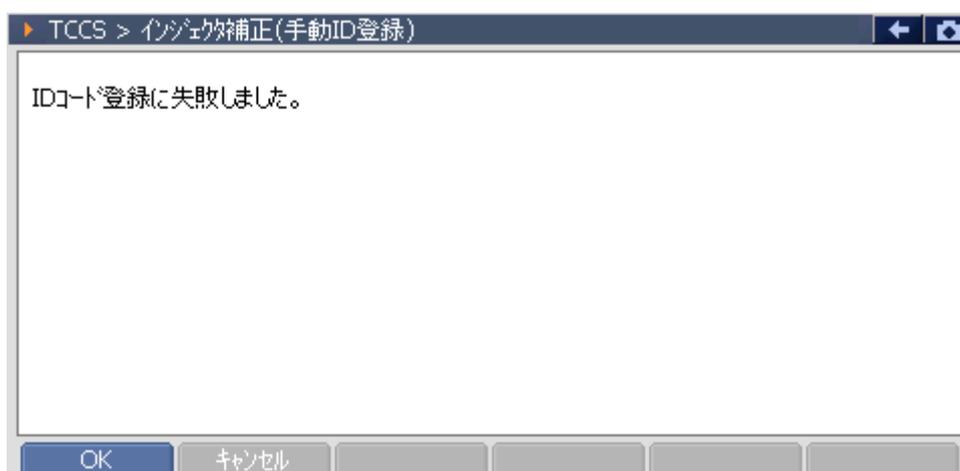
- 6) 入力したインジェクタIDの確認画面に移ります。 入力に問題がないことを確認して、「OK」を押してください。



〈図: インジェクタ補正(手動ID登録) 確認画面〉

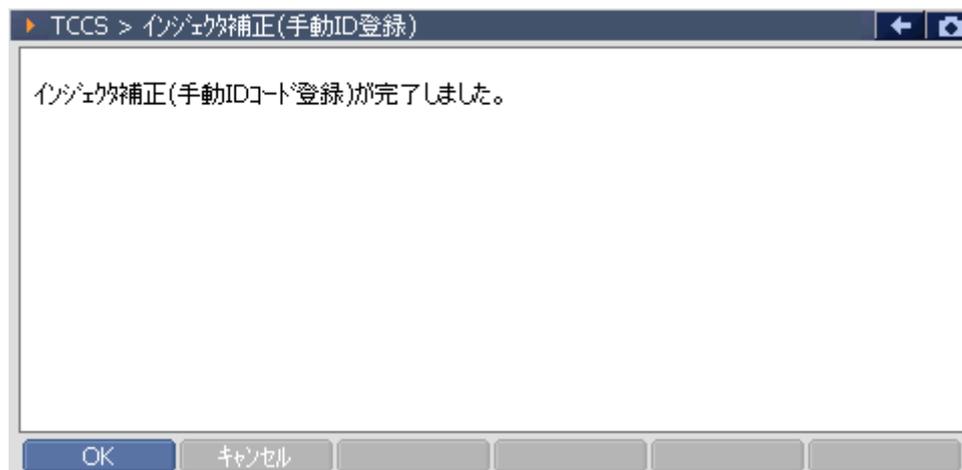
- 7) 実行に失敗した場合、下記のように表示されます。IDコードを再度確認して、再度実行してください。

※ 車両は IG ON(エンジン停止状態)でなければ実行できません。



〈図: インジェクタ補正(手動ID登録) 失敗画面〉

8) 実行に成功した場合、下記のように表示されます。



〈図: インジェクタ補正(手動ID登録) 完了画面〉

HV(ハイブリッド) ≪整備モード 2WD(排ガス測定用)≫

- 1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



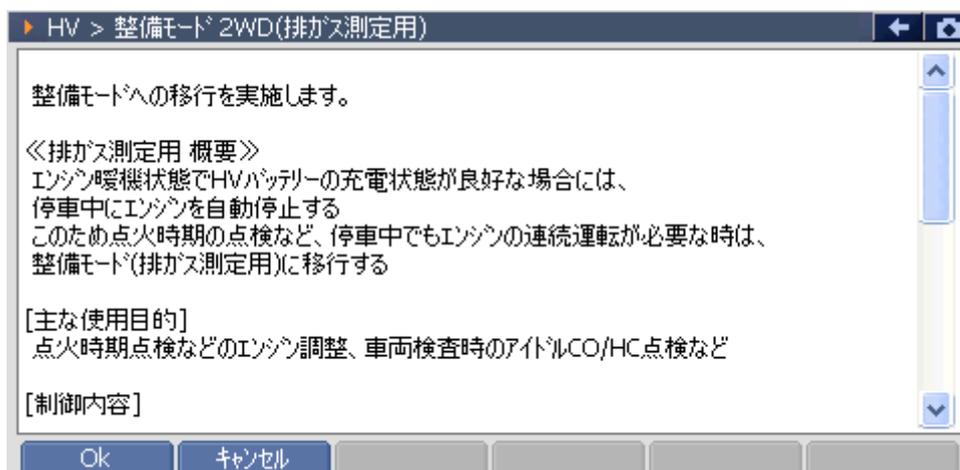
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

- 2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。整備モード 2WD(排ガス測定用)を選択して  ボタンを押してください。



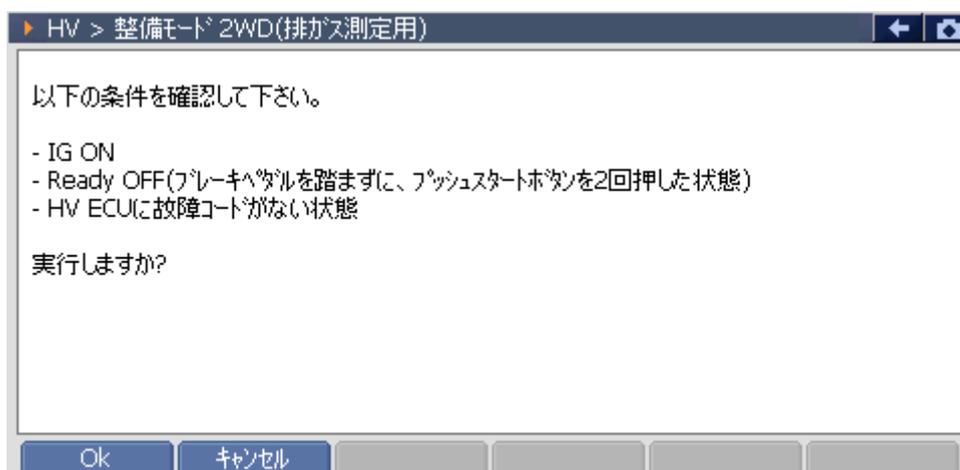
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 3) 整備モード 2WD(排ガス測定用)実行画面が表示されます。画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



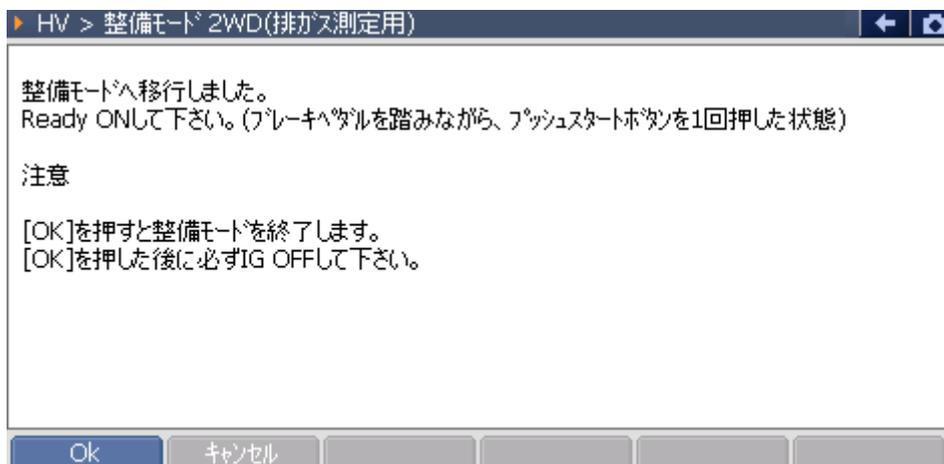
〈図: 整備モード 2WD(排ガス測定用) 注意画面〉

- 4) 「OK」を押すと、下記のように表示されます。条件をみたしていることを確認して「OK」を押してください。



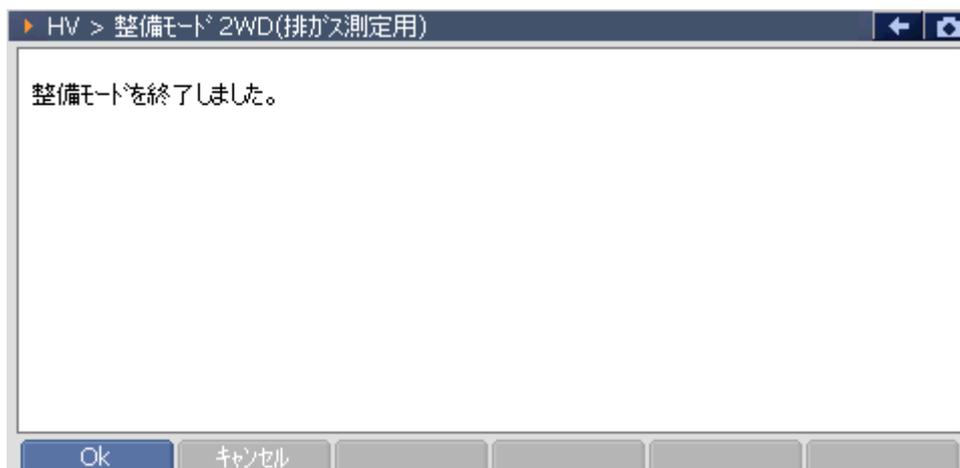
〈図: 整備モード 2WD(排ガス測定用) 条件確認画面〉

整備モードに移行されると、下記のように表示されます。車両をReady ONの状態にしてアイドリングが継続されるか確認してください。整備モードを終了する場合は、「OK」を押してください。



〈図: 整備モード 2WD(排ガス測定用)にモード移行画面〉

5) 整備モードを終了したことをお知らせします。



〈図: 整備モード 2WD(排ガス測定用) 終了画面〉

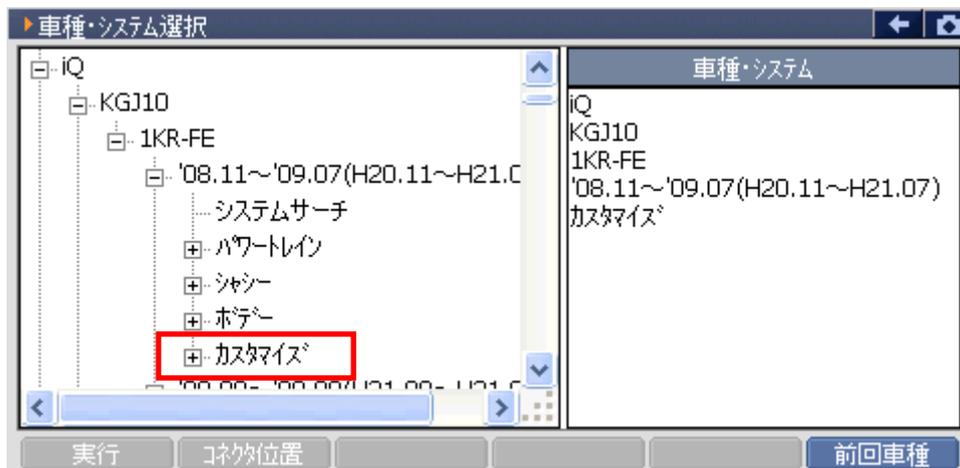
カスタマイズ機能とは、車両の設定を変更する機能です。

カスタマイズの対応状況については、製品サイト:G-scan.jpを参照してください。

<https://g-scan.jp/g-scan/system-toyota-lexus.html>

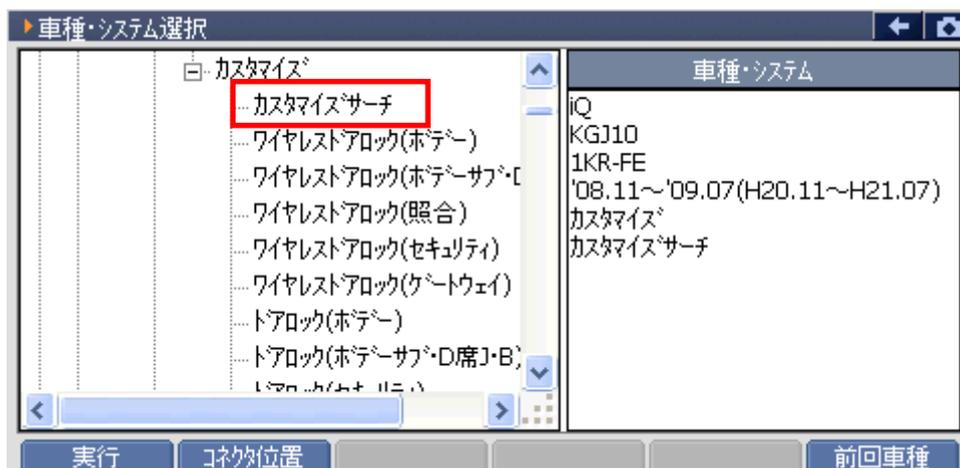
1) 車種・システム選択画面で診断メニューにおいて『カスタマイズ』を選択して

 ボタンを押してください。



〈図: カスタマイズを選択〉

2) 対応しているカスタマイズ機能が表示されます。カスタマイズサーチを選択すると、車両に対応しているカスタマイズ機能を表示します。



〈図: カスタマイズサーチを選択〉

3) カスタマイズサーチ結果は、以下のように表示されます。

システム	コード数
ワイヤレスアロック(ホテ-サフ-D席J-B)	
ドアロック(ホテ-サフ-D席J-B)	
セキュリティ(ホテ-サフ-D席J-B)	
パワーウィンドウ(ホテ-サフ-D席J-B)	
ワイパ(ホテ-サフ-D席J-B)	

〈図:カスタマイズサーチ結果〉

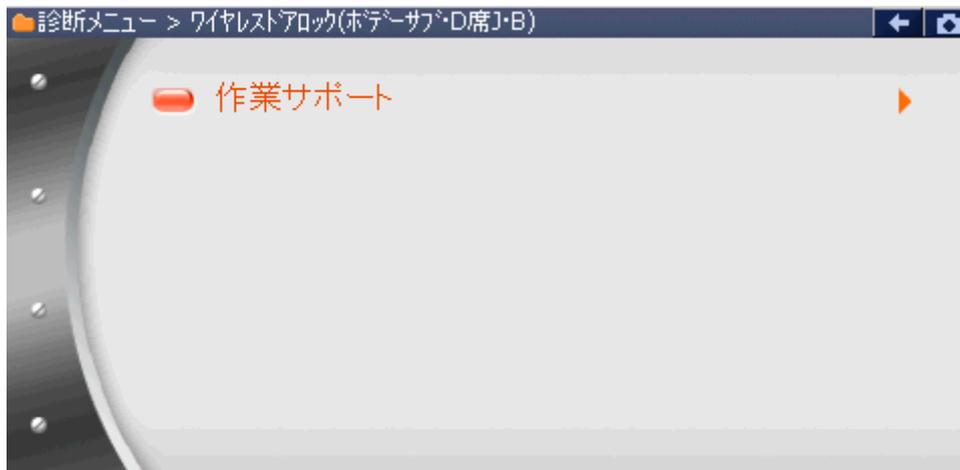
※ 注意と補足※

車両に搭載されているシステムによっては、対応していない項目があります。

《カスタマイズ「ワイヤレスドアロック(ボデーサブ・D席J・B)」》

ワイヤレスドアロック(ボデーサブ・D席J・B)の半ドアウォーニング設定変更を例に説明をします。

1) 作業サポートを選択してください。



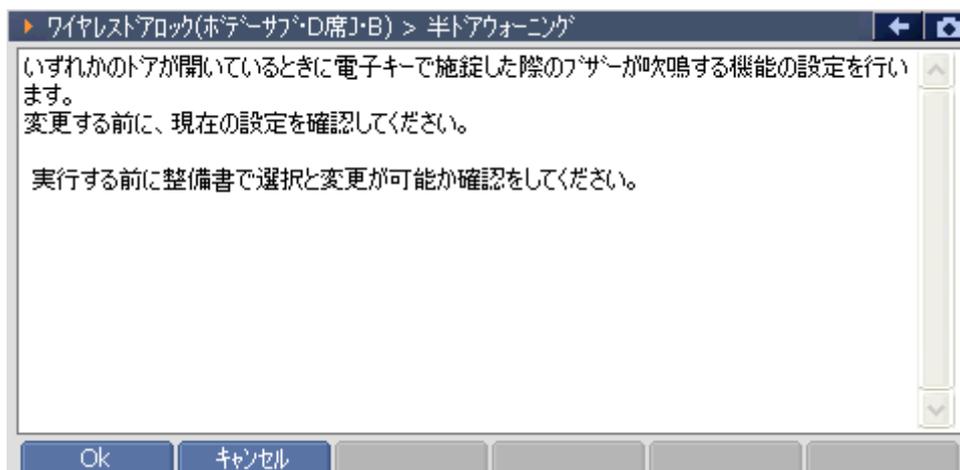
〈図: ワイヤレスドアロック(ボデーサブ・D席J・B) 選択画面〉

2) 作業サポートを選択すると、対応するカスタマイズ項目が表示されます。半ドアウォーニングを選択してください。



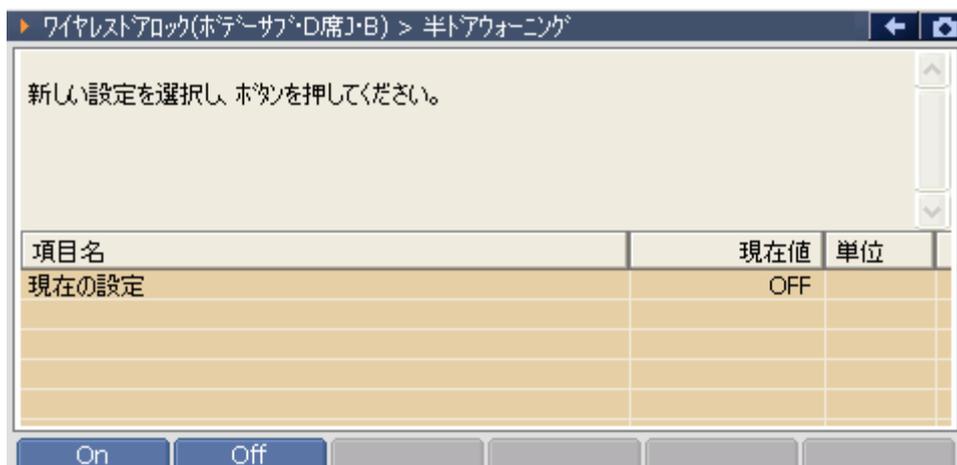
〈図: 対応するカスタマイズ項目〉

- 3) 半ドアウォーニングのカスタマイズについての説明が表示されます。実行する場合はOKボタンを押してください。



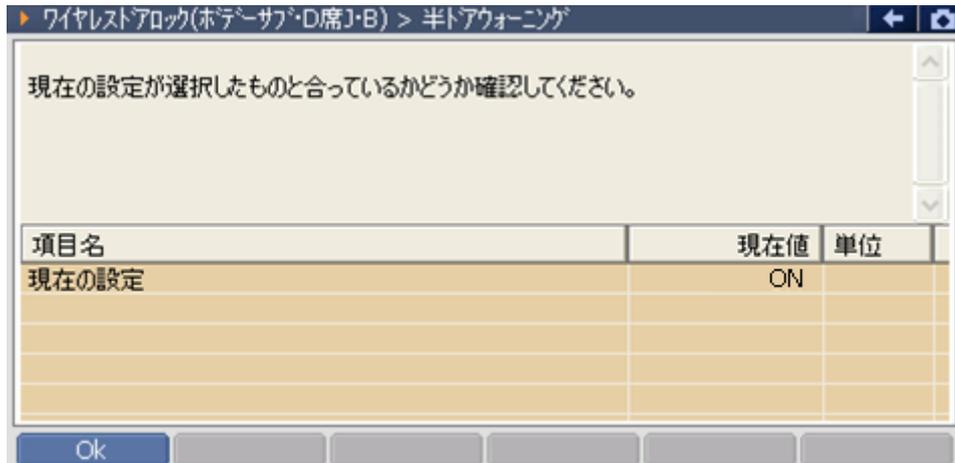
〈図:カスタマイズ 半ドアウォーニング注意画面〉

- 4) 変更する内容に合わせたボタンを選択してください。ここでは、ON を選択した場合について説明します。



〈図:カスタマイズ 半ドアウォーニング 設定変更画面〉

- 5) ボタンを押すとカスタマイズ項目の確認画面に移ります。設定した内容を確認してください。



〈図:カスタマイズ 半ドアオープニング 設定変更完了画面〉



株式会社 インターサポート

〒310-0803

茨城県水戸市城南1丁目6番39号

Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022

<https://www.inter-support.co.jp>

<https://g-scan.jp>

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 0570-064-737 → ② (ナビダイヤル※)

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 → ① (ナビダイヤル※)

Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2021年6月発行 第25版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-2-25